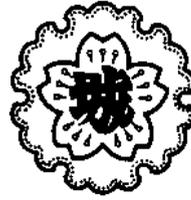


学校だより



済美



南砺市立城端小学校

令和2年12月25日

子供を信じる気持ち

校長 曲師 政隆

先月、NHKの朝ドラ『エール』が終わりました。様々な苦難を前向きに乗り切り大願を成就した主人公夫婦の生涯に、私はいつも力をもらっていました。最終週では、愛する娘の結婚に葛藤する主人公夫婦の姿が描かれました。はじめは、「収入はいくらありますか」「今の収入で娘を養えますか」「音楽で食えるようになってから出直してきてください」と冷たく相手の男性を突き放す二人でしたが、そのうちに、相手の男性の真心に触れ、結婚を許します。その後の二人の台詞が以下でした。「私たちも反対されました」「あのとときの僕は何も持っていなかったもん。よく許してくれた。(中略)いつの間にか親になって、いつの間にか昔の自分を棚に上げて、安心とか幸せって言葉を隠れ蓑に、大切な何かを見落としていたのかもしれない。(何かって?) 自分の子供を信じる気持ち。」私には、教育者として、親として、この言葉が印象深く残りました。

昨今、学校で子供たちの様子を見て、「何でこんなことをするんだ」「何でこうしないんだ」と思うことがあります。しかし、危険なことをするのは『好奇心』からであったり、負けず嫌い友達とけんかをするのは『向上心』の裏返しであったり、大人に反抗するのは『自立』の表れだったり・・・自分が小学生だった頃のことを考えると、自分もたくさん過ちや失敗をしてきたなと思うことがあります。悪いこともたくさんやってきました(具体的な内容は恥ずかしくて書けません)。いろんな経験をして、今の自分があります。子供には、自分と同じ失敗をしてほしくないから、つつい先回りをして口を出してしまうのですが、子供は困難を自分の力で修復してく力を必ず持っています。失敗することで学ぶことも多いと思います。本校が目指す『自ら考え判断し行動する子供』が育つよう、そこはぐっと我慢して、子供を信じていきましょう。



<1月の主な行事予定>

- 7日(木) 3学期始業式、給食開始
校内書初め大会
- 8日(金) さわやかデー
身体・視力測定(高)
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) 身体・視力測定(中)
学校集金
- 13日(水) 身体・視力測定(低)
- 15日(金) 集団登校
避難訓練(地震)
- 18日(月) 高学年弁当の日③
- 22日(金) 3・6年スキー学習
- 27日(水) 1・4年スキー学習
- 28日(木) 城端中学校入学説明会(6年生)

～ぽかぽかコラム～ おみせやさんごっこ

1年生は、国語科「ものの名まえ」の学習で、名前(商品名のカード)をたくさん集めてお店屋さんごっこをしました。

子供たちは「いらっしゃいませ。〇〇がおすすめですよ。」「おいしそうですね。ください。」と、店員さん・お客さんになりきって楽しんで会話をしていました。

お店屋さんごっこを終えると「全部売り切れたよ。」「いろいろなものが買えて楽しかったよ。」と、にこにこ笑顔が広がりました。

友達と関わり合い、楽しみながら学習している姿を見て、嬉しく感じました。

(1年担任 石塚 千里)



(2月・3月の主な行事予定)

2月 4日(木) 半日入学、12日(金) 学習参観・学年懇談会

3月18日(木) 卒業式、24日(水) 修了式、25日(木) 学期末休業開始、29日(月) 離任式

教育活動から

11/19 (木) 6年生
プログラミング学習



11/27日 (金) 2・5年生
歯科保健教室



1年生、2年生
外国語活動の学習の様子



11/30 (月) 12/14 (月) 高学年弁当の日



ヨシタケシンスケさん

子供たちは朝活動の時間や休み時間を通して読書に親しんでいます。図書委員会では「図書ビンゴ」や「ブックタワー」という活動を通して、多くの本を読んでもらおうと活動しています。

全国的に読書離れが進んでいるといわれています。書籍の売り上げは年々減少していますが、唯一、絵本（児童書）の売り上げは増加しています。「読み手」と「聞き手」が必要であるということが売れる理由だそうです。親子のコミュニケーションのツールとなっていることが分かります。

今、ヨシタケシンスケさんの絵本が注目され、人気を得ています。ヨシタケシンスケさんは、「世の中には、いろんな人がいるんだな」という読後感が残ってくれば一番いいと思って絵本作りに励んでおられるそうです。日常の中でありそうな場面や子供が考えそうな内容が、おもしろおかしく描かれています。

ちなみに、私が勝手に選ぶヨシタケシンスケさんの絵本ベスト3は、

第一位「見えるとか見えないとか」

第二位「もうぬげない」

第三位「なつみはなんにでもなれる」です。

寝る前の5分間など、親子のコミュニケーションとして絵本に親しんでみましょう。



図書担当 石崎 宏樹